広報みしま

町のすがた

（4月1日現在）

人口	男	3,329人（－8）
	女	3,526人（－12）
	計	6,855人（－20）
世帯数		1,563（－5）

（　）は3月1日との比較

4

第133号
毎月15日発行
定価1部20円

昭和54年4月15日
発行　新潟県三島郡三島町役場
☎（025842）代2221
昭和53年7月4日第3種郵便物認可
印刷　長岡市㈱中越タイプ社

さすが名キャスター
入江徳郎さんが講演

テレビのニュースキャスターでおなじみの入江徳郎さんが三月二十七日、町商工会の主催で開かれた時局講演会のため来町、町体育館で講演をされました。

「今後の政治と経済展望について」と題して二時間近く、あの独特の口調でわかりやすく解説をされ、集まった二百人を超える聴衆を最後まで引きつけておられました。話題は主として経済問題、最後に地場産業にも触れられ「今は下りのエスカレーターに乗っているようなもの、自らが飛躍を考え努力しないとズルズルと下るだけ。がん張ってください」と、結ばれました。

小熊太一郎さんら表彰
自治功労者表彰式

三月十五日、役場の講堂で五十三年度町自治功労者表彰式が行われ、長い間地方自治の発展に努力をされ、功績のあった六名の方々の表彰と、町議会議員として先ほど全国町村議会議長会の表彰を受けられた三名の議員の方々に記念品の贈呈がありました。

表彰を受けられた方々は、自治功労者として小熊太一郎（気比宮）田口六蔵（上岩井）山田一夫（鳥越）斉藤栄（同）原佐栄門（上条）山田芳助（気比宮）の各氏、記念品が、元井藤作（吉崎）滝沢忠義（鳥越）小熊正夫（藤川）の各氏に贈られました。

お地蔵さんもビックリ
春の突風大暴れ

お、お、私の家が…

無惨に吹き飛ばされた車庫

三月三十日夜半から三十一日朝にかけて吹き荒れた風速三十㍍を超える突風は、春を待つ私たちに強烈なパンチを与えたかたちとなりました。

町がまとめた被害状況は、住家の半壊一棟（一世帯）一部破損九棟（九世帯）公共建物七棟、その他の建物の被害が二百件以上にも及び、農林業施設などの被害も含めると被害総額は、三千万近くにも及びます。

雪のない冬に続き、三月の不順続きの天候に続く異常だけに早くも今年の作柄を心配する声も聞かれますが、この先平穏に過ぎてくれることを祈らずにはおられません。

東西南北
守り抜こう きれいな河川を

「川」という言葉から、どんなイメージを浮かべますか。

満々と水をたたえ悠然と流れる川、また最近では、ともすれば汚れてきたない川を想像されるかも知れません。

川は私たちの生活にはなくてならない大切なものです。大量の雨水を安全に流下させて水害を防ぐことはもとより飲料水、工業用水、農業用水として必要な水を供給するなど、昔から計り知れない恩恵を受けています。

また、魚つり、川遊び、川べりでの草花つみ、昆虫採集など自然に親しむ場を提供してくれるほか、河川敷や提防の土手を利用して作られる広場では、スポーツが楽しめるなど、憩いの場所としても私たちの生活には欠かせないようになりました。

しかし、一方で、この川にも都市化の波が押し寄せてきて、暮らしに直結する川の面影が薄れてきていることも事実です。たとえば、川の水が汚染され、魚の姿をみることのできなくなった川――。

この〝母なる川〟を汚すことは、すなわち私たちの生活自体を汚すことにつながるのです。

私たちの生活に潤いを与えてくれる水と緣のオープンスペースは、なんとしても私たち自身の手で守り抜きたいものです。

四月は「河川美化月間」です。

団長再任、副団長に片桐氏
消防団新幹部決まる

片桐保男
新副団長

町消防団の団長、副団長などの任期は二年となっており、今年がその改選期にあたります。

四月一日付けで発令された部長以上の新しい消防団幹部は再任も含めて次のとおりです。（☆印は新任または昇格、敬称略）

団長小方保、副団長（兼教育主幹）㋑片桐保男、訓練部長☆松浦與喜雄、技術部長河内唯司、予防部長佐藤勝利、第一分団長☆河内龍二、第二同斉藤和雄、第三同☆荒川聡、第四同☆青柳元一、自動車隊長元井忠栄、部長☆木戸與喜雄、田中衛、小熊久栄、☆小熊英志、☆大柳次男、☆岡本誠一、☆高野義樹、☆重山睦夫、☆小林宏☆遠藤太栄治、☆山田平八郎、☆草分義明、青柳泰雄、☆滝沢栄一、☆斉藤正雄、☆佐藤英一、☆樺沢篤一、☆奈良場二郎。

今回退団された団員は、曽根孝次さん（副団長）片沼栄治さん（教育主幹）帆刈一夫さん（自動車隊長）ら三十五人ありますが、いずれも長い間消防活動に尽力された方々で、その大きな功績の数々に改めて感謝と敬意の拍手が送られています。ほんとうにごくろうさまでした。

社会教育指導員に長谷川さん

町の社会教育を充実し、明るい町民性の高揚をはかろうと、昭和四十八年度から町教育委員会に非常勤の「社会教育指導員」が置かれていますが、新年度から今までの今井玄雄さんにかわって同じく鳥越の長谷川篤平さん（㊐）をお願いすることになりました。

新しい社会教育指導員の長谷川さんは、今春長岡市の上川西小学校長を退職された教育界のベテランで、その豊かな教育経験を生かしてご尽力いただくことになったものです。

なお、今井さんからは引き続き町史編集委員としてご活躍いただくことになっています。

人権擁護委員に山田さん

私たちの基本的人権の侵犯の監視とその救済のための相談など、法務大臣の委嘱を受けて、活動を行う人権擁護委員に気比宮の山田芳助さん（㊐）が再任されました。

山田さんは、このほか町の行政相談委員も兼職（再任）されていますので、人権、行政相談はお気軽に山田さんにご相談ください。

よろしくお元気で
町内各学校教職員異動

町内の小、中学校の先生方および職員の方々の異動が次のとおりありました。（敬称略）

☆新しい先生　（　）は前任校等

日吉小学校教諭田村邦夫（燕・大関小）同高橋勝弥（和島・桐島小）脇野町小学校教頭吉野富弥（長岡・関原小）同教諭甲斐照子（同四郎丸小）同谷村誠（同・上組小）同玉井英子（同・石坂小）同相浦美子（新採用）同主事五十嵐正子（長岡・表町小）三島中学校教頭五十嵐静夫（松代・松代中）同教諭小川栄一（長岡・西中）同中村博生（湯沢・湯沢中）同金子茂（長岡・栖吉中）同伊藤昌一（栃尾・荷頃中）同高橋泰（長岡・附属中）同木島照男（小千谷・吉谷中）

☆転任される先生（）は転任校等

日吉小学校教諭宮下恒夫（燕・大関小）同北川千枝子（同・小池小）脇野町小学校教頭石田進（塩沢・塩沢小）同教諭遠藤久美（退職）同田村和子（同）同川上芳房（長岡・神田小）同小林春代（中里・高道山小）同酒井美智子（退職）同柄沢孝子（柏崎・枇杷島小）同養護助教諭広瀬ちえ子（退職）同主事平田千江子（長岡・表町小）三島中学校教頭上坂元熙（中里・倉俣小学校長）同教諭西田博（長岡・西中）同長谷川佶（同・東北中）同石田戒治（越路・越路中）同宮川貞俊（上越・津有中）

▽役場人事

四月一日付けで次のとおり役場職員の異動がありました。（カッコ内は旧職名等）

▽異動　住民課・福祉係長小熊佐太夫（住民係長）同・住民係長大滝祐（社会教育係長）建設課・管理係長斉藤佐一（消防防災係長）教育委員会・社会教育係長心得原田洋衛（教育委員会）住民課・国保衛生係長心得遠藤克己（住民課）総務課・財政係長心得棚橋均（総務課）税務課星野洋一（教育委員会）教育委員会小林茂（税務課）

▽企業団派遣　与板町外二ヵ町村水道企業団派遣田中昭秋（水道課長心得）同風間正美（水道係長）同西原治一（水道課）同樺沢巳吉（同）

▽採用　（暫定補佐員からの採用を含む）住民課荘司かず枝、収入役室金子久美子、住民課中野芳美総務課斉藤一繁、住民課河内和幸建設課小川修一、教育委員会近藤フサ、同小田ミノル、同平原美喜住民課山田勝枝、教育委員会片野トク。

今月の保健行事

月日	種別	対象者	ところ	とき
4.20	生ポリオワクチン	初回53.7～53.12生まれの乳児、追加53.1～53.6生まれの幼児	総合福祉センター	14：00～15：00
23	破傷風、ジフテリヤ二種混合注射	51.10～52.3生まれの幼児（初回）50.10～51.3生まれの幼児（追加）	〃	14：00～15：00
26	糖尿病精密検診	一般	〃	8：30～9：00（受付）
5.14	糖尿病検診結果指導会	〃	〃	13：00～15：00
15	健康相談日	〃	〃	9：00～15：00
16	乳児検診（医師）	生後3か月から1歳未満の乳児	〃	12：30～14：00

技能検定を受けて技能士に

新潟県職業能力開発協会が、県の委託を受けて実施するものです。木工、左官、婦人服製造など15職種については、技能五輪全国大会県予選も併せて行われます。申し込みは5月11日まで。くわしいことは産業課へおたずねください。

ガスメーターを取り替えます

安全で正確な指針を確保するため次の予定でガス企業団職員がガスメーターの取り替え作業を実施します。その際、台所で点火試験を行いますのでご協力ください。4月―鳥越地区、5月―七日市、上岩井、吉崎地区、6月―脇野町地区。

町づくり"全力投球"

54年度予算

続けます 生活環境整備

これから一年間、町運営の基本となる昭和五十四年度の予算が決まりました。一般会計予算の規模は十億五千三百二十七万六千円、国民健康保険特別会計は二億三百八十八万一千円で、前年度当初に比らべて一般会計が五・〇%の伸び率であるのに対し、国民健康保険特別会計は二四・四%の大きな伸び率となっています。

三月八日から十九日までの十二日間開かれた第一回町議会定例会ではこの二つの新年度予算のほか、水道企業団加入にともなう関係条例の廃止条例など合わせて二十の議案がそれぞれ原案どおり可決されました。今月号では、その中から一般会計予算を中心に概要をお知らせします。

重点事業に効率的配分 町長の予算編成方針

三月九日の定例議会で町長は、新年度の予算編成にあたっては、次のような基本的な考え方で臨み編成したと述べています。

「国、県が引き続き景気の着実な回復と、雇用の安定を重点に諸施策を推進する方針であるので、当町においてもこれと同一基調で編成することとした。特に町にとっては、新年度から水道事業への多額の負担があり、しかもそれが長期に及ぶという厳しい財政運営に直面するが、緊急度の高い事業等には積極的な取り組みをはかり、従来からすすめてきた生活環境の整備充実は引き続き重点事業として取り上げた。そして財政の効率的配分に徹し、活気ある町づくりを念頭に全力投球で望むつもりである」。

町税収入は一八%依存財源比率高まる

歳入のうち約七億八千万円が交付税などの依存財源でその割合は七四%、したがって町税などの自主財源は約二億七千万円、二六%と前年度（当初）に比べて自主財源の割合が三%ほど低くなっています。

町税一億九千二百万円の内訳は町民税四二・九%、固定資産税三五・六%、町たばこ消費税七・七%、鉱産税六・一%などとなっていて、前年度の収入見込み額に対しては約、八%ほどの増額予算となっています。これは、固定資産の評価替えによる増収見込みなどによるものです。

予算の使いみち 水道事業に一億円積立

歳出のうち、五十四年度に町が予定する主要建設事業等は冒頭に掲げたとおりです。

そのほか項目をみてみると、まず、水道事業に関連して一億円が積立てられています。

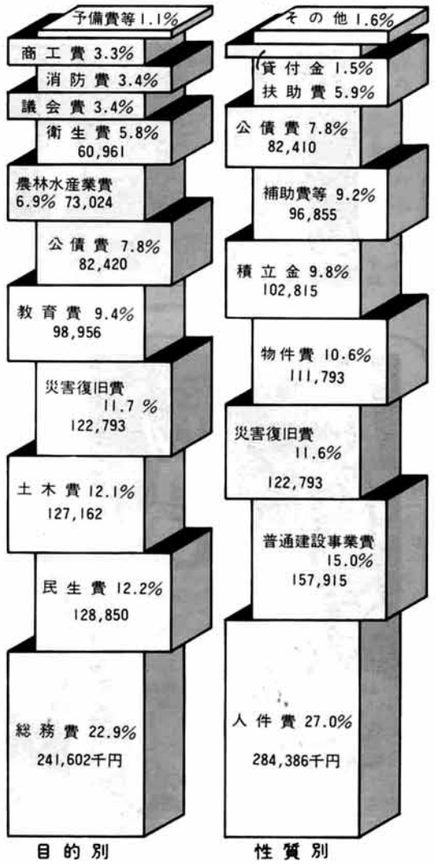
これは、五十五年度分の負担金二億円のうち半分を今年度から備えるものです。

社会福祉、衛生関係では昨年から始められた老人生きがい対策事業に百五十万円、健康づくり推進事業に九十万円が充てられ、住民の健康づくりと、福祉対策の大きな柱である二つの事業が継続されます。

懸案となっているもう一か所、保育所を建設するための調査費も計上され、五十五年度以降の建設をめざして準備がすすめられます。

54年度一般会計予算歳出の内訳

（総額10億5,327万6千円）



今年度は五月末日 固定資産税の納期

例年、固定資産税と都市計画税の第一期分納期は、四月末日ですが、今年度は国会で関係法律の成立が遅れたため、五月末日に延期されました。

これにともなって課税台帳の縦覧も四月九日から二十八日までとなり、現在役場と支所（土曜日の午後と日曜日を除く）でご覧いただけるようになっています。この機会にあなたの固定資産の価格等をお確めください。

県推奨優良品に 町の特産物八品目認定

県産品の品質向上と販路拡張をはかり、県産品に対する消費者の認識を深める目的で「県産品推奨制度」が設けられています。

三島町では四月から、次の製品が県産優良品として認定されています。

（）は事業所名等。

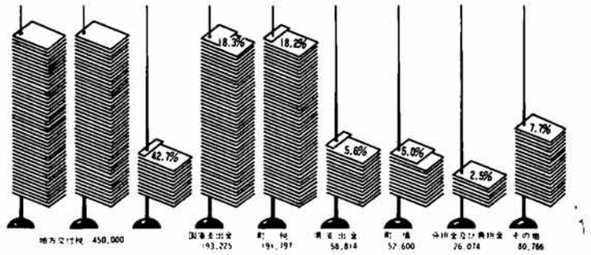
◇手引鋸（中仁鋸製作所、中屋幸四郎、中屋虎三郎、山田鋸製作所、中屋庄兵衛、中屋庄之介、中屋庄五郎、中屋五助、日本鋸工業、さかいや商店）◇カンナ（さかいや商店）◇ノミ（同）◇診味いか（住乃井酒造）◇味噌（柳醸造）◇敷中（星野屋）◇仁王蘭（同）◇金仏檀（亀甲屋仏檀店、大原仏檀店）。

水ぬるむこれからが危険 幼児の水死事故

四月から六月にかけて幼児の水死事故が多発しています。

活気ある 10億5300万円

歳入の内訳（単位千円）



農林業関係では、農家自らの手で地域の実態に即した農業を総合的に研究・実践するための地域農政特別対策事業に二百五十万円、土地基盤整備のための土地改良事業に四百九十万円、さらにほ場整備事業についても調査費が三十万円計上されています。

そのほか、商工業の振興関係事業に対する各種補助金が重点的に計上され、町全産業を含めた振興発展のための予算措置が講じられています。

教育関係では、三島中学校、脇野町小学校と続いた工事が一段落したため、教材とその活用、設備面に重点配分されています。

保険料二七・六%増 国保特別会計

保険料は、過去二か年間すえ置かれてきましたが、五十三年度の医療費の異常な伸びなどから二七・六%増額されます。

これは一世帯当り単純平均で九万一千円にもなり、加入世帯にとっては大きな負担となります。それでも歳入全体に占める保険料の割合は三七%程度で、三分の二近くは国庫補助などで賄われます。

給付の改善もはかられ、助産費が六万円から八万円に、葬祭費が二万円から三万円にそれぞれ引き上げられます。

いずれにせよ"相互扶助の原則"を貫く国民健康保険会計は、日ごろ健康に気をつけ、無用な乱診をさけ、お互いが医療費の節約に気をつけないと、結局ツケが自分のところに回ってくるしくみです。ぜひ、この点をご理解ください。

水道企業団議員に四氏

水道事業が今月一日から企業団に加入し、「与板町外二ヵ町村水道企業団」として正式に発足、業務を開始いたしました。

この企業団議会の町選出議員に元井藤作、小熊津栄門、小熊正夫、岡本正雄の四氏が三月十七日、開会中の定例議会で選ばれました。

企業団議会は各町村四名づつ、合わせて十二名で構成されていますが、この初議会が四月七日に開かれ、議長には与板町の吉岡八十七氏、副議長には和島村の八子八十衛氏が就任されました。

国際児童年にホットな話題二つ

今年は"わが子への愛を世界のどの子にも"をスローガンとした国際児童年の年です。

吉崎の一津谷進さん(三五)は、この意義ある年、町内の交通遺児や心身不自由の子供たちに何か役立つことをと、十万円を町に寄付してくださいました。町では一津谷さんの篤志に感謝し、有効に使わせていただくことにしています。

また、中条の遠藤壬子郎さん(六七)は、かつて自分の父が部落に寄付した遊具が傷んでいるのをみかね、それなら父になりって自分がその補修代をまかりましょうと、十万円を大字に寄付されました。神社の境内では真新しくなった遊具で、毎日子供たちが大喜びで遊んでいます。

新装された遊具で遊ぶ子供たち

県議選の投票率六四・三七%
三島町分の開票結果

四月八日に行われた県会議員選挙の三島町分開票結果は次のとおりでした。

△投票率六四・三七%（当日の有権者数四九八四人、前回の投票率八三・八七%）△各候補者の得票数外山勘兵衛一、五五九、五十嵐淑郎一、二二二、納谷平治郎三二八、（無効票九九票）

交通事故死（幼児）に比らべて圧倒的に水死事故が多いのに反し、一般の関心はそれほど高くありません。

家の回りや附近の遊び場の危険か所で、簡単なところは他人まかせにしないで気がついた人が安全対策を実施してください。

さらに水死事故は屋外だけとは限りません。家の中の"まさかこんなところで"と思うような「たらい」「バケツ」などによる事故例が多くあります。

小さな幼児をおもちの家庭では、そんなところへも気を配って、かわいい命を水死事故から守ってやってください。

建設省が一部機構改革 道路、河川行政を分離

これまで建設省の出先機関「長岡工事事務所」と「上越国道工事事務所」は、地域区分を中心とする建設行政の分担を行っていました。

三月に行われた建設省の一部機構改革で、河川行政については信濃川工事事務所（旧長岡工事事務所を改称、☎32―三〇二）、国道行政については長岡国道工事事務所（旧上越国道工事事務所を改称☎36―四五五）がそれぞれ分担することとなりました。

これによって河川、道路とも一元管理ができることになり、地域社会へのよりきめ細かな行政サービスの向上がはかれるとしています。そして、河川、道路に関する情報、要望や意見を気軽に聞かせて欲しいと両事務所では望んでいます。

町史編さん室 >8<

町史編集に思う

河内武志智

古きをたずねて新しきを知ることが盛んになり、各市町村史が次々と発刊されて平和の世の中がうかがわれる。

三島町の町史づくりも二年前からはじまり、資料も各方面から集まり、これからの実証をつづり合せることであるが、町や村によって異る実証をもっている。家庭も個人もみなそれぞれの経過があり、歴史となる毎日が繰り返されている。

多くの人々のなかには少年のころから五十年も、六十年も記帳している人がある。実に容易な業ではないが、寝る前の一分間あれば記帳できる。

家の歴史も交（こもごもの集りで話し合われることで、あの家は何代目とか、先代の方々は何をされたか、どこの分家、本家はどこなど語られる。これを知らないと不都合のことがある。

村や町も国の発展もまた同じである。長命の人でも百年はむずかしく、覚えていることは忘れ易い。記帳、記録したものや現物は事実を実証するものであって実証こそ何物にも優る宝である。

次に現在使用されている物でも五、六年も経ると捨て、かえりみない。昔から大切に保存されたり、廃物にしたりしてしまう。

心ある方々にお願いしたいことは、今からでも目ぼしいことを記帳、記録して個人も家庭も次の世代に伝えていただきたい。町も組合も会社等いずれも史料を大切に保存されて次の町史や、史料の編さんにも重要な役割りとなるよう願わずにいられない。

約300年前の古文書（立木売買決めた証文）